

これは知らなかった!

能・狂言のとおきの楽しみ方

700年の歴史を持つ日本の伝統芸能「能・狂言」。現代では難しい言葉が多い、敷居が高いと思われがちな能・狂言ですが、人間の喜怒哀楽を豊かに描き出す鏡として、長い歴史の中で洗練されながら多くの人々を魅了してきました。その魅力をもっと身近に感じていただけるように、平成29年の8月に開催する「アクトシティ能・狂言」のプレイベントとして、能・狂言を楽しむための基礎講座を開催します。「これは知らなかった!」から「そうか、なるほど!」へ。第一線で活躍中の演者による解説で、能・狂言の魅力がもっと見えてくることでしょう。この機会に能・狂言の世界をちょっとのぞいてみませんか?

能の楽しみ方



なかしょ のぶ お
お話 / 中所 宜夫

能楽師・観世流シテ方。観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者。

昭和33年名古屋生まれ。謡曲を趣味とする父の影響で子供の頃より能に親しみ、大学のクラブ活動を経て能の道を志す。古典作品の演能の他、新作能の創作、また能楽堂以外での小規模公演「能楽らいぶ」や能についての講演、謡曲・仕舞の教室など、能を未来に届けるための様々な活動を行う。豊橋市のNPO法人三河三座で謡と仕舞の教室を開く他、吉田城新能に出演する。

著書『能の裏を読んでみた 隠れていた天才』。

狂言の楽しみ方

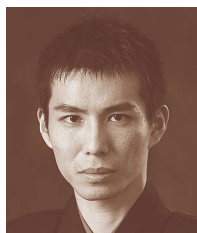
たかの かずのり
お話 / 高野 和憲



たかの かずのり
高野 和憲

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会『狂言ざん座』同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外を問わず狂言・能公演に出演。張りのある声で活躍している。カルチャーセンター講師を勤めるほか、大学のサークルも指導。

東京のほか新潟県柏崎市でも教室を持ち、普及に力を注いでいる。



おか さとし
岡 聡史

1980年生。

野村万作に師事。文化学院卒業後、狂言の道を志し、これまでに『面箱』『奈須与市語』を抜く。能楽協会会員。



つきざき はるお
月崎 晴夫

1964年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会『狂言ざん座』同人。『奈須与市語』『三番叟』を抜くなど古典狂言・能の舞台に出演するほか、『法螺侍』次郎冠者役、『彦市ばなし』天狗の子役などで俊敏さを生かした演技を見せている。舞台『子午線の祀り』『国盗人』にも出演。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加している。



ないとう れん
内藤 連

1986年生。野村万作に師事。成城大学経済学部卒業。

国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。

既に『面箱』『奈須与市語』を抜く。能楽協会会員。

狂言「柿山伏」あらすじ

修行を終え帰国途中の山伏。のどが渇いたので、道端に見つけた柿の木の実を取ろうとするが、手は届かず、石を投げても当たらない。とうとう柿の木に登って食べ始めると、ちょうど見回りに来た畑主に見つけられてしまう。腹を立てた畑主は、木陰に隠れた山伏を、からかってやろうと思いつく。あれは犬だ、猿だといわれる度に必死の物真似でごまかそうとする山伏だが、ついには空を飛ぶ鳶だといわれ…。

葛桶を柿の木に見立て、おいしそうに柿を食べる様子など、見る人の想像力をかきたてる狂言の代表作です。



開催決定

野村萬齋 監修

アクトシティ能・狂言 ～「六地藏」「安達原」～

日時 = 2017年 8/27 (日) 15:00開演 会場 = アクトシティ浜松 大ホール
全席指定 = S席6,500円 A席5,500円 学生席1,000円(当日指定)

チケット発売

一般発売
アクトシティ浜松友の会先行発売

2017年4月16日(日)
2017年4月9日(日)

出演



能『安達原』……………
観世 喜正 (ほか)



狂言『六地藏』……………
野村 萬齋 (ほか)

照明や映像等の演出を駆使した非日常空間で能・狂言をお楽しみいただけます。
詳しい詳細は順次ホームページに掲載します。 <http://www.hcf.or.jp/life>